

議会報告

【発行者】

市議会議員

渡辺 秀雄

荒井字三本松21

☎ 33-5841

Email info@hideo-watanabe.com

Blog http://hideo-watanabe.com/

組替え要求、修正案ともに否決 一般会計補正予算(第6号)

本宮駅東西自由通路等整備基金積立金 3億円

本宮駅周辺東西アクセス整備事業は、国の補助金等を見込んで、多額の一般財源が必要であるとして、今回基金条例を定め積立てを始めようとするには異論はありません。しかし、年度の間である9月の補正予算において、前年度繰越金(3億8,860万円)の大半の3億円を積立てるには賛成出来ませんでした。私は3億円の半分程度は、当初予算編成時に財源がなく予算が付けられなかった事務事業や、市民要望の多い生活道路整備等を優先させるべきであると、組替え要求の動議を提出しました。

また、所管の産業建設常任委員会からも、積立金を5,000万円減額する修正案が提案されました。

採決の結果、組替え要求、修正案いずれも賛成者3名で否決されてしまいました。私の要求に対する賛同者が少なかったのも残念でしたが、常任委員会の修正案の賛成者が、3名だったことには驚きでした。

多額の投資、効果は・・・???

※ 改選前にあった本宮駅周辺整備検討特別委員会が再び設置されました。

◀目的▶本宮駅東西自由通路、西口広場を含めた本宮駅周辺環境整備事業について、市の事業の進捗状況を注視しながら、事業計画及び財源について調査・研究を行います。

◎ 市条例の定めるところによる次の皆さんの市表彰に同意しました。(表彰式は11月3日)

【自治功勞表彰】

- 佐藤 政隆さん(荒井) 《前福島県議会議員》
- 矢島 義謙さん(糠沢) 《前本宮市議会議員》
- 遠藤 孝夫さん(青田) 《前本宮市議会議員》
- 國分 民雄さん(糠沢) 《前本宮市議会議員》
- 中野 一夫さん(本宮) 《前本宮市副市長》

※ 人事案件

次の方々を人権擁護委員として法務大臣に推薦することに同意しました。

- 伊藤 久子さん(本宮・再任)
- 橋本 広栄さん(岩根・新任)

※ 26年度決算

平成26年度会計のすべての決算が認定されました。財政健全化計画が概ね順調に推移されており、26年度も健全化判断比率の数値は、僅かですが減少し改善されてきております。市債(債務負担行為含む)残高と基金残高の前年度対比は、次表のとおりとなっております。

区 分	26年度末現在高	25年度末現在高	増 減
一般会計	35,968,000	15,413,966	20,554,034
(地方債)	15,751,129	15,124,839	626,290
(債務負担行為)	20,216,871	289,127	19,927,744
公共下水道事業特会 (地方債)	5,196,834	5,465,912	△ 269,078
農業集落排水事業特会 (地方債)	338,183	374,643	△ 36,460
工業用地造成事業特会 (債務負担行為)	4,210,579	4,953,692	△ 743,113
阿武隈川左岸築堤用地取得事業特会(地方債)	0	63,813	△ 63,813
水道事業会計 (企業債)	3,836,359	3,999,041	△ 162,682
計	49,549,955	30,271,067	19,278,888

※一般会計債務負担行為の増加

28年度まで住宅除染事業除染業務委託料200億円を設定

区 分	26年度末現在高	25年度末現在高	増 減
一般会計	4,889,186	3,132,745	1,756,441
(うち財政調整基金)	1,334,163	1,473,098	△ 138,935
国民健康保険特会 (うち支払準備基金)	44,280	50,339	△ 6,059
	680	615	65
介護保険特会	46,374	42,863	3,511
工業用地造成事業特会	0	70,334	△ 70,334
計	4,979,840	3,296,281	1,683,559

財政健全化法の4指標については、次のとおりです。

項 目	26年度	25年度	比較増減	早期健全化団体への基準
実質赤字比率	—	—	—	13.75%以上
連結実質赤字比率	—	—	—	18.75%以上
実質公債費比率	12.8%	14.0%	△1.2%	25.0%以上
将来負担比率	132.1%	134.5%	△2.4%	350.0%以上

※ 意見書の提出

《内閣総理大臣、関係大臣あて》

- ・米価暴落対策を求める意見書
- ・TPP交渉に関する意見書



一般会計予算

一般会計は、歳入において市税（市民税で37,440千円、固定資産税で162,240千円）の増及び前年度からの繰越金（308,601千円）等があるものの、普通交付税（108,154千円）等の減収もあり、今回5億7,842万4千円増の341億5,572万9千円となりました。

《補正予算（第6号）の主な内容》

・ 公共施設等総合管理計画策定費	5,000千円
・ 白沢総合支所周辺環境整備費	35,400千円
・ 浄化槽設置整備事業補助金	5,076千円
・ 白沢有機センター発酵処理機械修繕費	5,237千円
・ 堆肥生産組合運営補助金	5,080千円
・ 林業振興対策費（間伐等）	34,247千円
・ 道路維持管理費	12,800千円
・ 生活道路整備費	6,170千円
・ 用悪水路維持改良費	15,313千円
・ 公園維持管理費	3,174千円
・ 本宮駅東西自由通路等整備基金積立	300,000千円
・ 教育施設等整備事業基金積立金	50,000千円
・ 放射能対策費（スキ-教室委託料外）	10,441千円
・ 一中体育館屋上笠木回り修繕	1,200千円

※ 今回の一般質問から

○今年度の普通交付税が当初予算を下回ったが、合併後の一本算定になって来た場合、現在よりどのくらい減収になるのか。

【答弁】平成28年度の約1割減（4,800万円）を始めとして段階的に減額となり、平成33年度からは4億8,000万円ほどの減収となるのではないかとと思われる。

（今年度の交付額は約26億3千万円）

○補助金、交付金等受け多額の事業を展開しているが、財政構造の硬直化、弾力性を示す経常収支比率が、平成22年度の81.1%を境に毎年上昇しており、平成26年度も前年度より、1.6ポイント上がって89.4%（概ね75%が適）となっている。

適正に戻すための行財政改革の取り組みは、どうなっているのか。

【答弁】財政健全化目標の指標は順調に減少してきている。

経常収支比率についても注視していかなければならず、行政評価の中で取り組んでいる。

○少子高齢化などを背景に空き家が増えてきている。平成25年度の統計調査では本市には1,200戸のあると推計されるとのことであるが実態調査は。

400を超える自治体では「空き家バンク」などの取り組みを行って解消に取り組んでいるが市の見解は。

【答弁】実態調査は行っていない。取り組みの必要性は感じている。

○空き家対策特別措置法が施行されたのを機に、危険空き家の解消に努めるべきと考えるが見解は。

【答弁】特定空き家等の判断基準が示されたなら、実態把握に努め検討していきたい。

○7月から8月にかけて市内14の会場で開催した、地域懇談会の成果は。

【答弁】前回より8名多い236名の参加を得た。定住促進や道路整備、防犯灯の設置など216件の意見や要望があった。住宅除染等については10件に減った。

※ 主な条例の制定

○本宮駅東西自由通路等整備基金条例

4割の補助金を見込んでいるが、多額の一般財源が必要であり、その財源負担に対処するため。

○個人情報保護条例の一部改正

（略称）番号法が公布されたのを受け、必要な措置を講ずるため。特定個人情報に係る利用や提供の厳格化を図り、利用目的外の利用や提供は番号法と同様の要件を満たす場合のみ認めるなどに改正。

○手数料徴収条例の一部改正

社会保障・税番号制度に伴い、発行される通知カード、個人番号カードの紛失等による再発行の手数料をそれぞれ500円、800円とする。

議会報告は「源辺し
てまのブログ」にも
載せてます。



※ 後記

平成26年度一般会計の歳入決算額238億2,719万9千円に対し、歳出決算額は227億1,319万3千円となり、決算ベースでの執行率は95.32%となっております。実質収支額で7億8,860万1千円の黒字となりました。また、特別会計すべてにおいても黒字決算となっております。

改選後初めての議会において、同僚議員からの薦めもあって副議長選に手を挙げ、僅差で当選させていただきました。今回補正予算で、組替え動議を提出したように、これからも今までと何ら変わることなく、是々非々の立場で発言や行動をしておりますので、ご理解とご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

これからも市民目線で頑張ります。

